

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 ショクブン

コード番号 9969 URL <http://www.shokubun.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 伊藤 雄一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 田野 光夫

TEL 052-773-1011

四半期報告書提出予定日 平成21年2月10日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
21年3月期第3四半期	8,582	—	139	—	88	—	49	—
20年3月期第3四半期	8,324	△1.4	275	26.8	249	23.7	118	207.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	4.45	—
20年3月期第3四半期	11.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
21年3月期第3四半期	9,909	3,270	33.0	293.98
20年3月期	9,992	3,420	34.2	322.59

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 3,270百万円 20年3月期 3,420百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
21年3月期	—	8.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(％表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期	11,462	264	202	126	11.32
	4.4	11.9	13.5	85.3	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

[(注)詳細は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第3四半期	11,856,669株	20年3月期	11,292,066株
② 期末自己株式数	21年3月期第3四半期	731,391株	20年3月期	688,934株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第3四半期	11,129,256株	20年3月期第3四半期	10,601,763株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想に関する事項につきましては、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より【四半期財務諸表に関する会計基準】(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

3. 当社は、平成20年4月1日付で普通株式1株につき1.05株の株式分割を行っております。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループでは、国産品を中心とした「安全で安心な食材」により、お客様に「健康とおいしさ」をお届けし、常にお客様を第1に考え、顧客満足度の高いサービスの提供に努めております。

当第3四半期連結累計期間は、試食メニューの変更を行い様々な販売促進キャンペーン企画を実施してまいりました。献立メニューについては「和食便り」を追加発売し、お客様の満足度アップと共に販売単価アップにつなげております。また、他のメニューについても、食材本来の魅力を引き出すなどの工夫を行い、健康でおいしい食生活の提案に励んでおります。

営業所の新設については、豊橋営業所を開設し、既存エリア外への着実な浸透を図っており、そのほか既存エリアにおいても、ルートの増加を行い、販路の拡大に努めております。なお、営業効率の向上を目的として、幸営業所を閉鎖し、業務を宮前営業所に移管、統合しております。

売上面では、主力のレギュラーメニュー売上高は74億63百万円（前年同期比103.0%）となり、受注数、出荷数とも順調に増加しております。また、特売商品売上高は、販売機会を増やしたことや、年末の「おせち特売」、「クリスマス特売」について早期受注を心掛けたこともあり6億45百万円（前年同期比110.9%）と増加しております。

利益面では、使用材料等の厳選などにより、粗利益の維持向上に努めておりますが、第1四半期での原油価格の高騰及びその後の波乱や食材の国産指向への回帰により、原材料の仕入価格などが影響を受けており、売上総利益率は40.8%（前年同期比0.5ポイント減）となっております。

製造経費は、資材価格の値上がりなどがありますが、製造および配送の効率化に努めたことにより、前年同期とほぼ同水準となっております。

また、販売費及び一般管理費については、売上増加に向けて積極的に拡販策を講じたことなどにより費用が増加し、売上高に対する比率は39.1%（前年同期比1.1ポイント増）となっております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は85億82百万円（前年同期比103.1%）、経常利益は88百万円（前年同期比35.6%）、四半期純利益は49百万円（前年同期比41.9%）となっております。

なお、「前年同期比」につきましては、参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

資産の部では、前連結会計年度末に比べ現金及び預金が1億8百万円増加したものの、売却による土地の減少99百万円、投資有価証券の評価替えや売却による減少52百万円等があり、資産合計は前連結会計年度末に比べ82百万円減少の99億9百万円となっております。

負債の部では、前連結会計年度末に比べ買掛金が1億48百万円、長短の借入金が4億88百万円、預り金が37百万円それぞれ増加したものの、社債が4億33百万円、前受金が97百万円それぞれ減少したこと等により、負債合計は前連結会計年度末に比べ67百万円増加の66億38百万円となっております。

純資産の部では、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が1億24百万円減少したこと等により、純資産合計は前連結会計年度末に比べ1億49百万円減少の32億70百万円となっております。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの連結業績予想については、平成20年10月30日に公表しました予想数値に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却及び除却等の見積を考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成20年8月7日内閣府令第50号）附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

- ② 通常の販売目的で保有する棚卸資産については、従来最終仕入原価法による原価法によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。なお、この変更による営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,465,307	1,356,519
受取手形及び売掛金	47,812	47,553
原材料及び貯蔵品	110,036	116,661
繰延税金資産	53,476	78,889
その他	56,618	35,973
貸倒引当金	△122	△122
流動資産合計	1,733,128	1,635,474
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,694,336	1,704,734
土地	5,676,443	5,776,347
その他（純額）	87,457	112,223
有形固定資産合計	7,458,237	7,593,305
無形固定資産		
のれん	906	1,178
その他	57,851	61,013
無形固定資産合計	58,757	62,191
投資その他の資産		
投資有価証券	326,402	379,237
繰延税金資産	44,109	41,831
その他	305,986	297,404
貸倒引当金	△17,220	△17,220
投資その他の資産合計	659,278	701,253
固定資産合計	8,176,273	8,356,750
資産合計	9,909,402	9,992,225
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	621,252	472,283
短期借入金	1,880,000	1,457,000
未払法人税等	16,805	58,352
賞与引当金	72,350	134,300
その他	1,477,601	1,794,014
流動負債合計	4,068,009	3,915,951
固定負債		
社債	305,000	424,000
長期借入金	2,264,853	2,228,690
退職給付引当金	0	28
その他	898	3,091
固定負債合計	2,570,751	2,655,809
負債合計	6,638,761	6,571,760

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,148,010	1,148,010
資本剰余金	1,616,938	1,616,648
利益剰余金	967,094	1,091,405
自己株式	△443,366	△437,276
株主資本合計	3,288,676	3,418,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△18,035	1,677
評価・換算差額等合計	△18,035	1,677
純資産合計	3,270,641	3,420,464
負債純資産合計	9,909,402	9,992,225

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)
売上高	8,582,093
売上原価	5,083,735
売上総利益	3,498,358
販売費及び一般管理費	3,359,192
営業利益	139,165
営業外収益	
受取利息	2,151
受取配当金	3,170
受取保険金	1,083
受取地代家賃	5,309
受取手数料	6,569
その他	2,221
営業外収益合計	20,505
営業外費用	
支払利息	62,628
その他	8,124
営業外費用合計	70,752
経常利益	88,918
特別利益	
固定資産売却益	13,667
投資有価証券売却益	16,703
特別利益合計	30,371
特別損失	
固定資産売却損	15
固定資産除却損	3,040
特別損失合計	3,056
税金等調整前四半期純利益	116,233
法人税、住民税及び事業税	32,356
法人税等調整額	34,344
法人税等合計	66,701
四半期純利益	49,531

注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、四半期連結財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等」の一部を改正する内閣府令(平成20年8月7日内閣府令第50号)附則第7条第1項第5号ただし書きにより、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

前第 3 四半期に係る財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年12月31日)
売上高	8,324,602
売上原価	4,885,841
売上総利益	3,438,760
販売費及び一般管理費	3,163,091
営業利益	275,669
営業外収益	
受取利息・配当金	3,428
その他	15,277
営業外収益合計	18,705
営業外費用	
支払利息	42,406
その他	2,064
営業外費用合計	44,470
経常利益	249,904
特別損失	
固定資産除去損	11,628
特別損失合計	11,628
税金等調整前四半期純利益	238,275
税金費用	119,972
四半期純利益	118,302